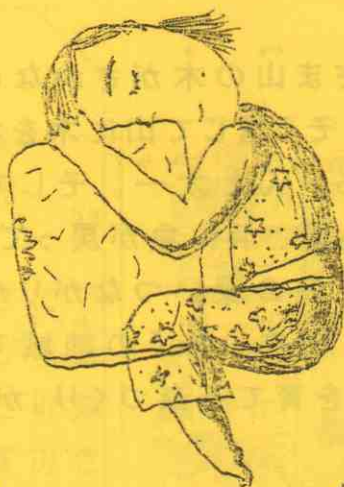


本とあそぼう こどもみんと

Vol. 39

2004年 6月
宇佐市民図書館
〒879-0453
宇佐市大字上田1017-1
Tel. 0978-33-4600
Fax. 0978-33-4679



おとうさんのおい

こうき あけみ

わたしはいつもおとうさんとねていました

おとうさんがようじでいっしょに

ねられないときに

おとうさんのまくらをだいてねます

まくらをだいてねると

おとうさんのおいがして

おとうさんとねているようなきがしました

おとうさんのまくらのおいは

おしごとのおいです

1ねん1くみ子どもの詩の本
『お父さんはともだちです』

鹿島和夫 編 長谷川集平 絵
理論社 刊





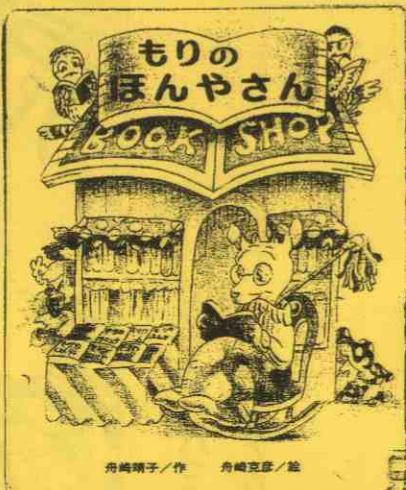
【森のおはなし】

『もりのほんやさん』

ふなざきやすこ 舟崎靖子 作 舟崎克彦 絵
偕成社 刊

この本屋さんは、ページがないことで有名です。なぜってやぎさんがページを食べてしまうから。でも、お話のつづきが知りたい人にはこまりもの。はりねずみさんは仕事を休んでしまっ...

1977年に1作目が出て、今では15作。小さいときに読んだ方もいるかも。親子で楽しめるお話です。



舟崎靖子/作 舟崎克彦/絵



高橋たまき・作 藤田ひおこ・絵



『魚をよぶ森』

さいとう 斎藤きみ子 文 津田櫓冬 絵
佼成出版社 刊

「かみさま山やまの木がさかなさかなのいのちそだてる」そう信じて山に木を植え続けたおじいちゃんおじいちゃんと太一たいち。そして太一が大人になる頃、浜に魚が戻ってきます。

森と川と海の深いつながりが描かれています。現在、多くの地域で漁民の森など「魚を育てる森づくり」が行われています。

魚をよぶ森

斎藤きみ子・作 津田櫓冬・絵



『ぶなぶなもりであまやどり』

高橋たまき 作 藤田ひおこ 絵

あかね書房

絵をかきに出かけた森。雨がふったので雨やどりしに大きな木の下に行く。そこにはいたのは大きなクマ。でも、とてもやさしい。「くまばあば」に二人はてるてるぼうずを作ってもらったので



どくだんとへんけんによっているかもしれない

今月の一冊



『うちのパパってかっこいい』

アソニー・ブラウン さく

久山 太市 やく

評論社 刊

パパはこわいものもない。つよくて、なんでもできる。でも、ぼくがパパをだいすきなのは、なんでもできるからだけじゃない。

あこがれのスーパーマンであるおとうさん。いつまでも「かっこいい」といわれる存在でありたいですね。

各出版社には紹介について許諾を戴いております。ありがとうございました。